

平成 18 年 2 月期 第一級海上特殊無線技士 試験問題

-

法規 12 問 } 24 問 1 時間
無線工学 12 問 }

法

規

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）してください。

〔1〕 船舶局（義務船舶局を除く。）の免許の有効期間は、何年か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 3 年
2. 4 年
3. 5 年
4. 無期限

〔2〕 次に掲げるものは、電波の型式を表示する記号であるが、振幅変調の両側波帯でアナログ信号である単一チャネルを使用する電話のものは、どれか。

1. A 3 E
2. F 3 E
3. F 1 B
4. J 3 E

〔3〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 無線局に備え付ける。
3. 通信室内に保管する。
4. 携帯する。

〔4〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命じられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状又は登録状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
2. 発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
4. 略語を使用して通信を行ったとき。

〔5〕 電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を免許人又は登録人（以下「免許人等」という。）が認めたときは、電波法の規定によりどうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その免許人等を告発する。
2. その無線局の電波の発射を停止させる。
3. その無線局の免許人等にその旨を通知する。
4. 総務省令で定める手続により総務大臣又は総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に報告する。

〔6〕 海岸局において、空電、混信、受信感度の減退等の通信状態については、電波法施行規則では、次のどれに記載しなければならないことになっているか。

1. 無線設備の保守管理簿
2. 無線局事項書の写し
3. 無線業務日誌
4. 無線検査簿

法

〔7〕 無線局を運用する場合において、空中線電力は、遭難通信を行う場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 無線局免許申請書に記載したもの
2. 通信の相手方となる無線局が要求するもの
3. 免許状又は登録状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最大のもの
4. 免許状又は登録状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最小のもの

〔8〕 なるべく擬似空中線回路を使用しなければならない場合に該当しないものを下の番号から選べ。

1. 実験無線局を運用するとき。
2. 実用化試験局を運用するとき。
3. 無線設備の機器の試験を行うために運用するとき。
4. 無線設備の機器の調整を行うために運用するとき。

〔9〕 無線電話通信において、呼出しに使用した電波と同一の電波により通報を送信する場合、順次送信する事項のうち省略することができるのは、次のどれか。

- | | |
|-----------------|----|
| 1. 相手局の呼出名称 | 1回 |
| 2. (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| (2) こちらは | 1回 |
| 3. (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| (2) こちらは | 1回 |
| (3) 自局の呼出名称 | 1回 |
| 4. (1) こちらは | 1回 |
| (2) 自局の呼出名称 | 1回 |

規

〔10〕 2,182kHzの周波数の電波が使用できるのは、次のどの場合か。

1. 遭難通信を行う場合
2. 電波の規正に関する通信を行う場合
3. 出入港に関する通報の送信を行う場合
4. 漁業通信を行う場合

〔11〕 無線局に備え付けておかなければならない時計は、その時刻をどのように照合しておかなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 毎週1回以上中央標準時に照合する。
2. 毎月1回以上協定世界時に照合する。
3. 毎日1回以上中央標準時又は協定世界時に照合する。
4. 運用開始前に中央標準時又は協定世界時に照合する。

〔12〕 次の記述は、国際電気通信連合憲章に規定する無線通信規則の緊急信号に関する規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「緊急信号は、 優先順位を有する。」

1. 遭難通信を除くほか、他のすべての通信に対して
2. 現に行っている通信に次いで
3. 他のすべての通信に対して
4. 安全通信に次いで